

2020年度 中部高等学校ゴルフ連盟主催大会 新型コロナウイルス感染症に対するガイドライン

中部高等学校ゴルフ連盟

行動規範

新型コロナウイルス感染を避けるため、大会期間中は連盟が決めた下記の事項を順守し、連盟の指示に従ってください。

- ① 大会前は、感染が発生している地域への移動は控えること。
- ② 通学する学校長に参加同意書を提出し、大会受付時に体調管理チェックシートの提出を義務付け、以下の事項に該当する場合は自主的に参加を見合わせること。
 - ア 体調がよくない場合（例：発熱・咳・咽頭痛などの症状がある場合）
 - イ 同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる場合
 - ウ 過去 14 日以内に政府から入国制限、入国後の観察機関を必要とされている国、地域等 への渡航又は当該在住者との濃厚接触がある場合
- ③ マスクを持参すること（クラブハウス内、ホテル共用スペースはマスク着用）
- ④ こまめな手洗いをを行うこと（30 秒程度かけて水と石鹸で丁寧に洗う）。
- ⑤ 設置している消毒用アルコール剤で手指消毒を実施すること。
（アレルギーその他、個々の手の状態により③のみでも可）
- ⑥ 口・鼻・目に不用意に触れないこと。
- ⑦ 可能な限りソーシャルディスタンス（約 2m）を保つこと。
- ⑧ 競技中に大きな声で会話、応援等をしないこと。
- ⑨ 旗竿に触れることを極力避けること。
- ⑩ 毎朝、体温を測定し健康チェックを行うこと。
- ⑪ 出場選手は、体調不良を少しでも感じたらコース上すべての人のために競技を棄権し委員会に申し出ること。
- ⑫ 入場初日に、配布するチェックシートに記入し連盟へ提出すること。
- ⑬ 大会終了後 2 週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、連盟に対して速やかに濃厚接触者の有無等について報告すること。
- ⑭ 万一、大会期間中に陽性者が会場にいたことが判明した場合、二次感染の予防のため連盟から状況をお知らせするので、チェックシートに緊急連絡先（携帯電話・メールアドレス）を記入すること。
（取得した個人情報は、緊急連絡時以外は使用しません）

大会期間中の感染予防策

- 委員会の取り組み
- 選手の行動

◆ホテル

- 館内及び各客室のアルコール消毒を定期的に行います。
(ルームキー・ドアノブ・リモコン・電話・椅子・テーブル・スイッチ・トイレの水栓レバー・ペーパーホルダー・蛇口・バスタブ・シャワー取手・ドライヤー)
- 大会期間の日中は、消毒及び清掃のため客室にスタッフが入ります。
- 基本的に個室とするが、やむを得ない場合は学校ごとの部屋割りとします。
- 大会期間中の外出は顧問の同伴を義務付けとし、自室からの移動は極力控えること。
- 夕食、朝食時の着席は、顧問または大会関係者の指示に従うこと。

◆車寄せ（玄関）

- キャディバッグの荷下ろしはプレーヤー自身で行うこと。
- 玄関からスタート室前までは、プレーヤー自身で運ぶこと。

◆クラブハウス

- クラブハウス内のアルコール消毒を定期的かつ随時行います。
(ロッカー取手・ロッカーキー回収・自動精算機・フロントカウンター周り)
- クラブハウス内の換気を実施します。
- 消毒用アルコールを各所に配備します。
- 非接触型の検温器による検温を実施します。
(37.5℃以上の場合、出場の可否を連盟で協議します)

◆フロント

- チェックインは記帳せず、スタート時刻と氏名を告げること。
- 選手へのインフォメーションボードは、密を避け分散して掲示します。

◆ロッカーの振分け

- 同時に使用する人数や各選手のスタート時刻を考慮します。

◆トイレ

- 便座除菌クリーナーを設置します。

◆ゴルフ場浴室

- アルコール消毒を定期的かつ随時行います(シャワー取手、桶、椅子、ドライヤー)。
- 浴室の利用は荒天時のみとし、その判断は大会実行委員会にて決定する。
- 利用する場合は共用を避けるため、化粧品・櫛を撤去します。

◆レストラン

- アルコール消毒を定期的かつ随時行います（テーブル・椅子・メニューカバー）。
- テーブルは2m以上の間隔で配置します。
- バイキング形式の提供方法は以下のとおりとします。
（調理スタッフが一皿ずつ提供する専用コーナー・個盛りしてラッピング・ご飯と味噌汁は専用サーバーを導入）
- 料理を取る際はマスクを着用し、備え付けの簡易手袋を着用すること。

◆乗用カート

- ゴルフカートのアルコール消毒を定期的かつ随時行います。
（ハンドル・シート・手摺り・ナビ画面）

◆スタート時刻

- 大会のティータイムは10分間隔とします。
- スタート地点には、スタートする組だけが5分前に集合すること。

◆スターター

- テントを使用する場合は、2方向を開放します。
- ソーシャルディスタンスの確保のため、選手との間隔を開けて机を配置します。
- 追加のローカルルール等の説明は、口頭による伝達ではなく文書で配布します。
- カードを含めた配付物はテーブルに置くので、選手自身で取ること。

◆バンカーレーキ

- バンカーレーキは撤去しますので、足やクラブでならずこと。

*以下のローカルルールを追加します。

「プレーヤーは規則 12.2 に基づいてバンカーをならず場合、バンカーレーキの代わりとして足やクラブを使用してならずことが出来る（バンカーに関するすべての他の規則は修正されず適用される）。」

「プレーヤーの球がバンカー内にある場合、プレーヤーは元の球か別の球を次の救済エリアにプレースし、その救済エリアからプレーすることで1度だけ罰なしの救済を受けることができる。

- ・基点：元の球の箇所
- ・基点から計測する救済エリアのサイズ：基点から1クラブレンジス以内
- ・救済エリアの場所に関する制限
 - 基点よりホールに近づいてはならない
 - バンカー内でなければならない

◆アテスト

- スコアカードのやり取りを避けるため、マーカ―署名を省きます。

*以下のローカルルールを追加します。

「マーカ―はスコアの証明を口頭で行うことができ、マーカ―の口頭での証明を受けて、プレーヤー自身がマーカ―の証明があった旨をスコアカードに記載することで、規則 3.3b に基づくマーカ―の証明があったものとみなす。」

- ソーシャルディスタンスの確保のため、間隔を開けるため立ち位置を示します。

◆競技委員・マーシャル

- コース内を巡回する際、他の競技委員との乗用カートの共用を避けます。
- 選手との会話の際のソーシャルディスタンスの確保を心掛けます。

◆成績表示

- プロジェクターと大型スクリーンや大型ディスプレイを使用して、遠くからでも見られるようにします。
- 密の状況を避けるため、成績表示は分散して掲示するか、SNS を活用して行います。

◆表彰式

- 換気の状態や広さと、出席する人数（密度）を勘案して実施します。

大会開催における基本方針

◆開催可否の判断

- ① 政府及び自治体の見解
- ② 大会開催地自治体の状況
- ③ 選手の状況及び動向
- ④ 他のスポーツの動向
- ⑤ JGA 及びプロトーナメントの状況

◆大会実施の制限

- ① 無観客開催【競技・放送・取材】
- ② 非公開開催【競技・放送】
- ③ 大会中止

◆スタッフの対応

- マスクまたはフェースシールドを着用します。
- レストランスタッフはゴム手袋を着用します。
- 頻繁な手洗いうがい、アルコールによる手指消毒を行います。
- 出社時に体温測定し、37.5°C以上の場合は自宅待機とします。
- 万一に備え、近隣の救急対応病院と所轄保健所と連携体制を取ります。

◆緊急時（荒天時）の対応

- 密の状況を作らないように早めに中断を決定します（避難時間の確保）。
- 避難ツール（車両・乗用カート）の十分な量を確保します。
- 避難場所のスペース（単純な広さとして）を確保します。
（クラブハウスの他にカート庫やホテルロビー等の利用）

◆ギャラリーの制限

- 出場しない選手、選手の家族を含め大会関係者以外の入場をお断りします。

◆取材規制

- 非接触型の検温器による検温を実施します。
（37.5℃以上の場合は、取材をお断りします）
- 事前登録をしていない方は身分証明書の提示を求めます。
- インタビュー時は、選手との間に規制線を設置します。

◆選手・ギャラリー及び関係者から疑い例が出た場合

- 一時的に該当者を隔離する。
- 自覚症状を確認し、所轄保健所に相談する。
- 該当者から濃厚接触者の有無等について聞き取りを行う。
- 集団発生に対するリスク管理を行う。

◆選手・ギャラリー及び関係者から PCR 検査の陽性反応が出た場合

- 会場に感染者がいたことを公表する。
- 該当者から、当日の交通手段、会場内での行動ルートの聞き取りを行う。
- 緊急対応病院または所轄保健所の指示を仰ぐ。
- 大会を中止にするべきかどうかを検討する。

※アンダーラインの事項は競技委員長の判断とする。